

2023年3月9日

各 位

会 社 名 株式会社レナサイエンス
代表者名 代表取締役社長 内藤 幸嗣
(コード：4889 東証グロース)
問合せ先 執行役員 管理・経営計画 石丸 裕康
(TEL. 03-6262-0873)

2023年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月9日開催の取締役会において、2022年5月12日に公表しました2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年3月期の業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	事業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 90	百万円 △542	百万円 △542	百万円 △542	円 銭 △42.70
今回修正予想(B)	100	△329	△329	△331	△26.06
増減額(B-A)	9	213	213	211	
増減率(%)	10.7	—	—	—	
(参考)前期実績 (2022年3月期)	139	△210	△241	△254	△22.33

2. 修正の理由

2022年3月期の通期業績の見直しを実施した結果、下記のとおりの見込みとなりました。

【事業収益について】

最終的に、前回発表予想比で9百万円(同10.7%)増加する見込みとなりました。

主な要因は、企業との契約金収入に加え、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)事業で開発が順調に推移した結果、開発予算の増額承認を受けられたことなどによるものです。

【営業利益、経常利益、当期純利益について】

最終的に、前回発表予想比で、営業利益および経常利益は213百万円、当期純利益は211百万円増加する見込みとなりました。

主な要因は、慢性骨髄性白血病(CML)治療薬や新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に伴う肺傷害治療薬などのパイプライン開発において、AMEDからの公的資金を活用したことにより自社の研究開発費を約187百万円削減出来たことによるものです。尚、自社の研究開発費は削減しましたが、当社の強みである効率的な研究開発活動を実施した結果、当初目標としていたパイプライン開発(数、ステージ)は予定どおり進捗しています。

※上記の予想は、本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づく判断及び仮定を前提にしており、実際の業績等は今後の様々な要因により、当該予想値と異なる結果となる可能性があります。

以 上